

作業環境の改善

加温目的で、蒸気を直接吹き付けるまたは温水槽を使用する環境、高温作業場等では、プレートコイルを用いることで作業環境の改善が図れます

プレートコイル導入例（化学品の加温）

化学品はドラム缶や一斗缶などに封入されることが多く、冬場では化学品の流動性を上げるため加温が必要となります。

下記にプレートコイルを用いた加温器をご紹介します。



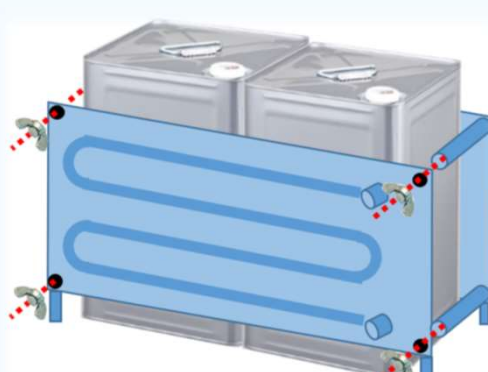
ドラム缶用加温庫



ドラムウォーマー



一斗缶ウォーマー



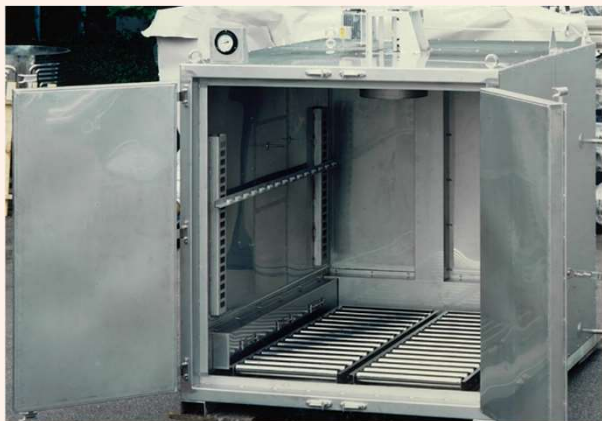
簡易型 一斗缶ウォーマー

サイズ・形状等
ご要望に応じて設計可能！

プレートコイル式ドラム加温庫

熱源に蒸気を使用したプレートコイル式ドラム加温庫は、化学原料やワックス等の加熱用として多数の実績があります。

本体サイズ：外寸等ご要望に合わせて設計、**最大32缶用**まで実績あり



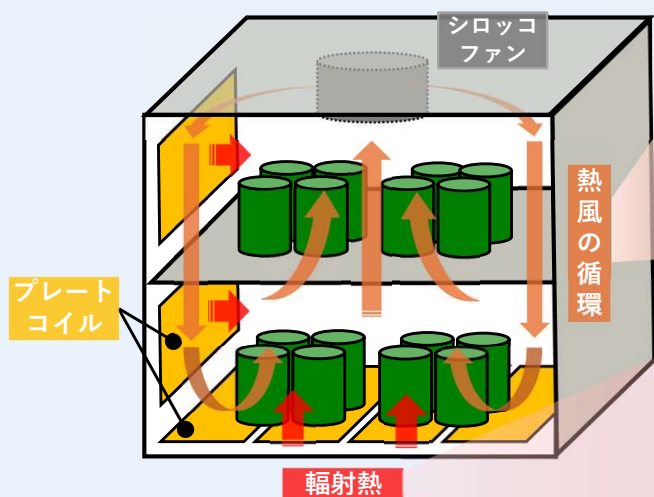
庫内空気循環ファン付 4ドラム用
サイズ：W1854 × L1900 × H1950 mm（ファン除く）



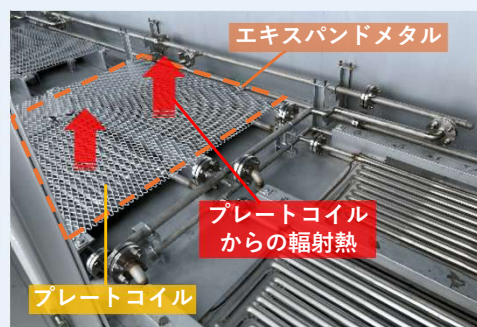
9ドラム用
サイズ：W2600 × L2500 × H2000 mm

内装：必要な加温能力に応じて、プレートコイルのサイズや枚数、設置位置（壁面・床面）、空気循環ファン（シロッコファン）の有無等を選定

<イメージ図>



特徴：熱風の循環と輻射熱による加温



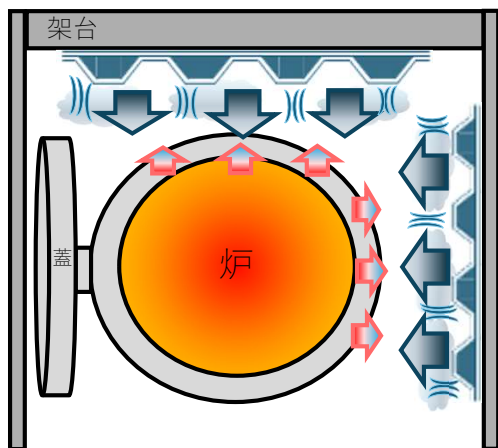
特徴・メリット

- 本体サイズや循環ファンの有無など、ご要望に合わせて設計可能
- 熱風の循環と輻射熱による、効率の良いドラム缶の加温

プレートコイル導入例（高温作業場①）

加熱炉など高温になる装置の周りに冷媒を通わせたプレートコイルを設置することで、効率よく遮熱が可能です

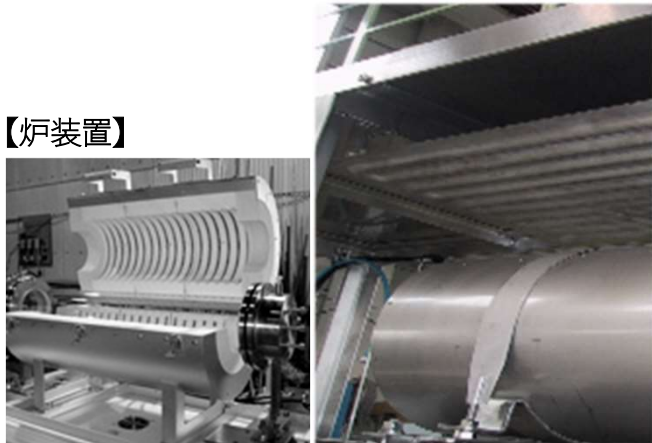
加熱炉冷却用プレートコイル



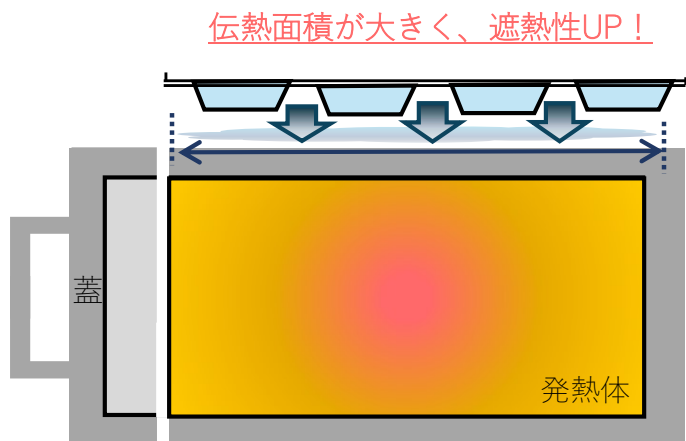
炉からの放熱による、
作業者への負担や周辺設備の不具合を防ぐ！

【取付けイメージ】

【炉装置】

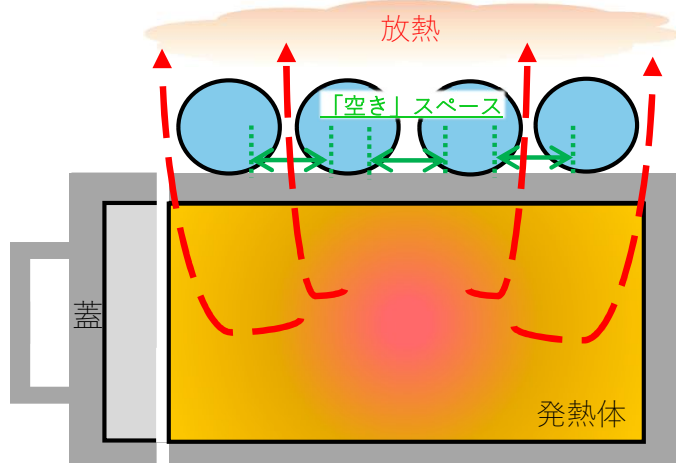


【プレートコイル式】



板形状の為、「面」での冷却が可能！
熱を逃がさず、周囲への放熱が少ない！

【トレスパイプ式】



パイプ間の「空き」スペースから
周囲へ放熱が発生しやすい

メリット・特徴

- 炉からの放熱をムラなく遮熱！
炉からの熱による周辺設備の不良や周囲の作業環境の悪化を防ぐ
- 設置・取り外しが簡単！メンテナンス性良好！

パーティションプレートコイル

炉などの発熱源からの放熱を遮断！



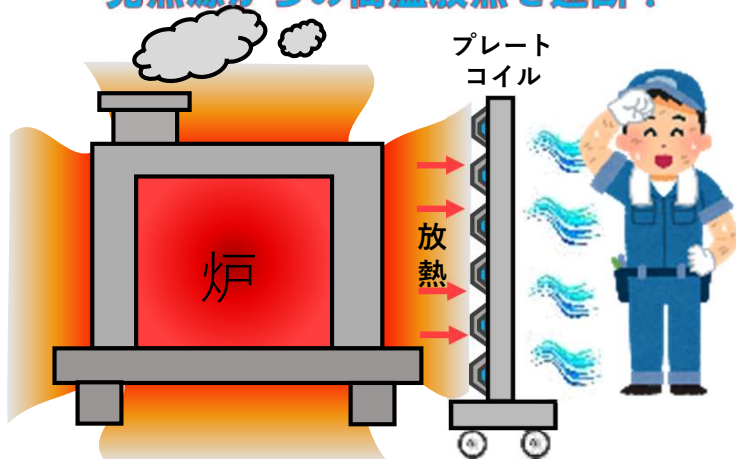
様々なサイズ
に対応！



移動も
ラクラク！

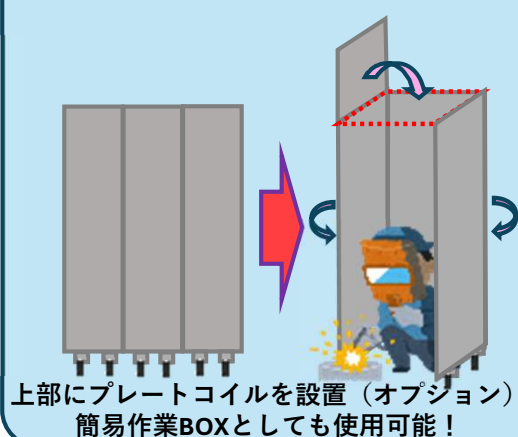
BOXタイプ

発熱源からの高温放熱を遮断！



【通常タイプ】

【BOXタイプ】



HEAT

使用する熱媒によって、
ヒーターorクーラーとして利用可能！

COOL

メリット・特徴

- 板形状の為、発熱源からの遮熱性抜群！
作業環境の悪化や周辺機器の不良を防ぐ！
- 熱媒を変えるだけで冷やすだけでなく、温める事も可能！